

2020.4.18(土) → 9.7(月)

## 船に浮かぶ形

## 船が浮く形

石上 和弘

いしがみ かずひろ

めぐりアート+ 2020年度前期展示  
※休館日はグランシップHPをご確認ください

## めぐりアート+ とは

静岡市内のさまざまな場所を会場に開催されている展覧会「めぐりアート静岡」。

※今年度会期：10月20日～11月8日

「めぐりアート+ (プラス)」は、これまで「めぐりアート静岡」に関わったアーティストへの新たな発表の場の提供に加え(プラスし)、グランシップにご来館のみなさまに日常的にアート作品に触れていただくことを目的とした展覧会です。館内のさまざまな場所に置かれた作品による、空間の変容をお楽しみいただければ幸いです。

## 石上 和弘 -いしがみ かずひろ-

彫刻家。1966年静岡市に生まれる。1991年武蔵野美術大学彫刻学科卒業。

静岡市を拠点に精力的な活動を繰り返している。

近年のものとしては、「めぐりアート静岡 2015」

静岡県立美術館、個展「チョウコクノモリ/チョウコク

ノヒロバ」静岡カントリー浜岡コース&amp;ホテル・

カルチャーフロア(静岡/2015)、「神戸ビエンナーレ

アートインコンテナ国際展」準大賞受賞(兵庫/2015)、「

第27回UBEビエンナーレ(現代日本彫刻展)」

島根県吉賀町賞、市民賞受賞(山口/2017)、個展「アフターアップル」ギャラリー

ナユタ(東京/2017)、「めぐりアート静岡 2018」東静岡アート&amp;スポーツ/

ヒロバなどが挙げられよう。「めぐりアート静岡 2020」参加確定。



## 作家紹介

石上和弘は彫刻の歴史や既成の評価モデルを括弧に入れて、身近なもの、自らが直接経験したことを起点に想像力を展開する。父が生業としていた酪農、子どもの頃から目にしてきた富士山、古い家屋や木で作られた道具、...

グランシップは石上によって見つめなおされ、場が秘めていたワンダー(湧きあがるような驚き)を解き放つ。これまで美術に関心を持たなかった人の心に向けて。

(めぐりアート+ キュレーター 白井嘉尚)

裏表紙作品：《浮雲のインスタレーションB》2020年 / 表紙作品：《浮雲のインスタレーションA》2020年





6F エスカレーター付近  
《浮雲のインスタレーション B》2020年  
針葉樹合板、シナ合板、オイル塗料着色



3F エスカレーター付近  
《天地雲》2020年  
針葉樹合板、シナ合板、鏡、オイル塗料着色



ショーウィンドウ  
《鏡富士 A》2014-2020年  
スギ材、鏡、オイル塗料着色